

学園だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北湊学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第1号 令和3年4月発行

文責 校長 牛島 俊哉



合い言葉「元気にあいさつ」



新年度が始まりました。学校のスタッフも一新され、職員全員で充実した教育活動を行って
いこうと気持ちを新たにしているところです。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度もよろしくお願いいたします。

さて、学校の現場では、教育活動のもととなる学習指導要領が改正され、子どもたちの未来
を見据えた新しい教育の実践が求められています。「社会に開かれた教育課程の実現」「主
体的・対話的で深い学びの実施」「GIGA スクール構想の実現」などのキーワードを念頭にお
いて、これからの社会に対応できる子どもたちを育てていきたいと考えています。

同時に、私たちが生活する上で、大切にしなければならないものがあります。子どもたちの中
に、何かにチャレンジするための「やる気」や「エネルギー」が十分に内包されているかどうか注
意深く見守っていく必要があると思っています。「やらされてやる」のか「やる気をもってやるの
か」は、成果に大きな違いが表れます。子どもたちに、やる気をもってほしい、日常生活の中
に喜びを見つけてほしいという願いを込めて、本年度の重点目標を「元気にあいさつ」としまし
た。「元気」と「あいさつ」には、もともとの意味があり、本校では、次のように定義しています。

「元気」とは、古くは「減気」と書き、病気の勢いが衰えて快方に向かうことを表した。近世
には「験気」と書き、治療などの効果が現れて気分がよくなることの意味となった。現在では、
活力の盛んなさまを意味するようになり、「元気」と書くようになった。元気とは、単に行動が活発
であったり声が大きかったりすることではなく、活動の源となる力が十分に内包されている状態
にあることととらえる。

「挨拶(あいさつ)」とは、中世に日本に入ってきた漢語であり、元来禅宗において僧が問答
を繰り返すという意味をもつ学問的な言葉である。現在では、他人に対して尊敬や親愛の気持
ちを表す動作、言葉、文面などを意味する。「尊敬や親愛の気持ちを表す」という点において、学
校の教育目標の達成や教育課題の解決に向けて重要な意味をもつとともに、挨拶はコミュニケ
ーションの大切な第一歩であり、学力向上や人間関係づくりの基盤となるものだと考える。

「元気にあいさつ」を合い言葉に、子どもたちの学習に取り組む姿勢、子どもたち同士の関
わり方などを見とり、子どもたちの健やかな成長を願って指導を進めていきます。みなさまのご
理解とご協力をよろしくお願いいたします。